

## 山陰労災病院の基本理念

私たちは、信頼される・優しい・効率の良い医療を実践し、地域の皆様と勤労者の健康を守ります。  
「信頼・優しさ・効率」



## 年頭のご挨拶



院長  
大野 耕策

2014年は甲午の年。甲の年には前の時代には通用していたものが通用しなくなる新しい時代になると言われ、午には「物事がうまくいく」という意味もあり、「つきあたる」、「さからう」の意味もあるようです。多少抵抗はあっても、日本が良い方向に向かいますように、また地域の皆様にとりましても良い年になるように祈念いたします。

山陰労災病院は51周年目を迎え、4月から産婦人科と小児科を開設するために仮設棟（南棟）の建設と、新エネルギー棟と放射線棟の新築を行っています。これから50年使用した西館を新館に建て替え、現在外来のある東館を改築する予定になっており、建物の面からも新しい時代に入ります。

また、山陰労災病院は昨年5月から急性期入院医療において手厚い看護職員を配置する7：1病院となりましたが、今後団塊の世代が後期高齢者となる2025年までに現在32万床ある7：1病院のふるい落としが行われ、急性期に診療密度の高い医療を提供する高度急性期機能病院18万床と地域に密着した一般急性期機能病院35万床に分けられます。特定機能病院である大学病院、総合入院体制加算を届けている鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、鳥取赤十字病院は高度急性期機能病院となる可能性が高いと思われます。一方、高度急性期機能病院では亜急性期病棟（地域包括ケア病棟）を持つことが出来ません。産婦人科と小児科の開設で総合入院体制加算の届け出ができる体制が整いましたが、亜急性期病床を持つ山陰労災病院をどちらの機能を持った病院にしていくのか、病院機能の面でも新しい時代に向けた選択が迫られています。地域の病院と連携して皆様お役に立てるのはどちらの機能の病院であるかをよく議論していきたいと考えています。

新しい時代に向かう山陰労災病院へのご支援を本年もどうかよろしくお願いいたします。

## 産婦人科・小児科新設（平成26年4月）

# 診療科紹介

## 呼吸器・感染症内科

### 【概要】

当科は平成25年1月1日より、これまでの呼吸器内科と感染症内科を統合し、呼吸器・感染症内科として診療を開始しました。

診療内容は、気管支喘息などの呼吸器アレルギー性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、呼吸器感染症、呼吸器悪性腫瘍、びまん性肺疾患などの呼吸器疾患全般を中心にして、労災病院の使命であります、職業性肺疾患のじん肺、アスベスト関連疾患などの診断、治療も行っています。ただし、感染症につきましては、呼吸器感染症が主で、特殊な感染症は扱っておりません。

当院は、日本呼吸器学会認定施設でもあり、診療レベルを保つため、3名の呼吸器内科医が毎日、専門外来診療を行っています。入院患者は、主治医制を取っていますが、症例毎にカンファレンスを行い、科としての治療方針を決定しています。

今後、人口の高齢化や環境の変化に伴い、ますます、呼吸器疾患患者が増加することが予想されます。呼吸器疾患の特徴として、急性期をしのげば完治するものではなく、いかに慢性期を管理するかが重要であります。そのためには、家庭、かかりつけ医、病院の連携が最も大切だと考えております。

【担当医】 福谷 幸二（月・木） 加藤 和宏（火・水） 木下 直樹（金）

## リハビリテーション科

### 【概要】

平成24年4月から独立診療科としての「リハビリテーション科」を標榜しています。

ところで、「リハビリテーション（以下、リハと略します）」とは何かご存じでしょうか。ついでに「リハ医療」とは何をするのかということについて紹介したいと思います。

言葉の定義としては、1981年にWHOが提唱した「リハビリテーションは、能力障害や社会的不利の状態の影響を減らすことと、能力障害や社会的不利をこうむっている人達の、社会的統合を実現することを目的とするあらゆる手段を含む。リハビリテーションは、能力障害や社会的不利を持った人達を、環境に適合するように訓練するばかりではなく、障害を持った人達の社会的統合を促すために、身近な環境や社会において間をとりもつことをも含んでいる。」というのが一般的かと思えます。

例えると…

想像してみてください。ここに9人しか選手のいない野球チームがあります。各選手の守備位置は決まっているのですが、二塁手だけが上手くない。このチームを強くしたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

いろいろな対策があると思いますが、①二塁手に特別な練習をさせて上手くする、②練習試合を多くこなす、③一塁手や遊撃手でカバーする、④守備を入れ替える、⑤応援団を作る、⑥他の所から強い選手を連れてくる、等々あると思えます。

野球チームを一人の人、上手くない二塁手を障害部位と考えると…①や②は、麻痺した手を動かすようないわゆる障害部位への直接の機能訓練、いわゆる「訓練」です。③④は、麻痺していない側の手で食事したり、字を書いたりといった代償動作を考えた訓練・指導、⑤は、家族や社会環境の調整、支援の依頼などであり、⑥はちょっと違うのかもしれませんが、義肢・装具とか、ロボット技術の導入とかになるのでしょうか。これらの訓練・支援等を障害をもたれた方に行う医療的行為のことが「リハ医療」です。その中でリハ医の役割は、チームの作戦や方針を決定する監督というよりも、もう少し外側から大きな視野で援護するGM（ゼネラル・マネージャー）とか、プロデューサーといったところでしょうか。

つまり、リハとは、訓練士さんがする訓練や、ましてや電気治療、温熱治療などの高価で刺激的な機械による治療だけではないのです。おわかりいただけますでしょうか。

急性期病院におけるリハ医の仕事は各診療科のリハ依頼をスムーズに訓練士に伝えることだけ、とお思いの方もおられるようですが、それだけ留まらない仕事をしようと考えております。

当院のリハ科では主に入院患者さんに対して、中央リハ部の訓練士（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）と密に連携を取り、各診療科医師・病棟看護師と医療チームとして、一日も早い社会復帰を目指して奮闘しております。院内外の医療関係者の方々、今後ともよろしく願いいたします。

【担当医】 磯辺 康行（月・水・金）



## — 認定看護師の活動紹介 —

がん化学療法認定看護師 青砥 由美子

「がん化学療法看護認定看護師…って何?」「化学療法って…何?」そう思っている方がいらっしゃると思います。がん化学療法看護認定看護師の役割は、化学療法（抗がん剤治療）を行う患者様に向けての看護実践と看護スタッフへの指導・相談です。現在、2名のがん化学療法看護認定看護師が外来と病棟に分かれて活動をしています。2人に1人ががんに罹患するという時代、抗がん剤治療を行う患者様も増えてきています。そのような背景の中で、私たちが行っている活動を少し紹介しようと思います。



看護実践では、抗がん剤治療を受ける患者様の投与管理（安全に薬が投与できるようにする事）や、副作用の指導やケアを行っています。「抗がん剤＝副作用がきつくて怖い!」どころなくそう思っている人が多いのではないのでしょうか?以前は入院して副作用の管理を行っていましたが、



副作用を抑える薬も増え、今は外来で治療を行って帰宅するという外来化学療法を受けておられる方が増加してきています。私達は外来という限られた時間の中で、患者様が安全で安楽に治療を受けられるように治療室内の環境を整えたり、患者様に副作用の指導を行ったり、疑問に答えたりしています。抗がん剤治療を行っている患者様は、副作用の他にも家族のこと、予後、仕事…などたくさんの悩みを持っておられます。私たちは患者様の気持ちに寄り添えるようなケアが出来るように心がけています。また、医師・看護師・薬剤師や栄養士など様々な職種が必要時介入を行い患者様をサポートできるようにしています。

また、病棟でも患者様に安全で安楽に治療が受けただけのように、外来同様患者様のケアに努めています。入院中に困ったことや副作用のことで「認定看護師に聞きたい!」と思われたらぜひ、おっしゃってください。



看護スタッフへの指導や相談では、スタッフに向けた院内の勉強会（年5回シリーズ）や病棟単位でのミニ勉強会も行っています。抗がん剤治療は日々、変わってきています。患者様に安心してケアを受けていただけるように看護スタッフも自己研鑽に努めています。知識を持ったスタッフがたくさんいますので安心して治療を受けていただけたらと思います。

私達は今後も、患者様が安心して安全に治療が受けられるように活動していきたいと思っています。困ったことがあればいつでもご相談ください。

依頼があれば、院外でも講演会や勉強会も行っています。お気軽に声をかけてください。



## 新人医師紹介

(H 25.12 以降)



小児科部長 飯塚 俊之

【出身】鳥取県

【趣味】読書

【自己PR】

子供達の笑顔のためにがんばります。



研修医 中村 研介

【出身】鳥取県

【趣味】卓球

【自己PR】

一日も早く職場に慣れ、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

# 外来診療担当医師

平成26年2月1日現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	1診	福谷 幸二 (呼吸)	加藤 和宏 (呼吸)	加藤 和宏 (呼吸)	福谷 幸二 (呼吸)	木下 直樹 (呼吸)	
	2診	古城 治彦 (消化)	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香	尾崎 就一 (循環)	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香	徳盛 豊 (糖尿) 宮本 美香	
	3診	岸本 幸広 (肝)	神戸 貴雅 (消化)	岸本 幸広 (肝)	向山 智之 (消化)	神戸 貴雅 (消化)	
	4診	遠藤 哲 (循環)	足立 正光 (循環)	笠原 尚 (循環)	太田原 顕 (循環)	水田 栄之助 (循環)	
	5診	中岡 明久 (腎)	西向 栄治 (肝)	角田 宏明 (消化)	謝花 典子 (消化)	西向 栄治 (肝)	
	6診	足立 正光 (パースメーカー外来)	前田 直人 (肝)	石田 千尋 (午前) (腎)	伊澤 正一郎 (甲状腺)	前田 直人 (肝)	
	禁煙外来				福谷 幸二 [15時~ 予約]		
内視鏡	胃	神戸 貴雅 前田 直人 西向 栄治 角田 宏明	向山 智之 岸本 幸広 森尾 慶子 岡本 欣也 (大学)	謝花 典子 向山 智之 隔週 [程塚 正則 (大学) 安部 良 (大学)]	古城 治彦 神戸 貴雅 角田 宏明 森尾 慶子 藤井 容子 (嘱)	謝花 典子 岸本 幸広 藤井 容子 (嘱)	
	大腸		古城 治彦 謝花 典子	神戸 貴雅 古城 治彦		向山 智之 古城 治彦	
消化管 X線検査		向山 智之 謝花 典子 森尾 慶子	角田 宏明	前田 直人 森尾 慶子	西向 栄治	角田 宏明	
神経内科	1診	林 永祥	林 永祥		林 永祥	林 永祥	
	2診	岸 真文	寺岡 瞳	岸 真文	岸 真文	寺岡 瞳	
	3診	楠見 公義	楠見 公義	楠見 公義	寺岡 瞳	楠見 公義	
心療科	1診	高須 淳司	高須 淳司	高須 淳司	兼子 幸一 (大学)	山内 崇平 (大学)	
	2診				高須 淳司	高須 淳司	
外科	1診	野坂 仁愛	大井 健太郎	福田 健治	山根 成之	山根 祥晃	
	2診		不 定		野坂 仁愛		
整形外科	1診	楠城 誉朗	不定 (受付10時まで)	大月 健朗	不定 (受付10時まで)	岡野 徹	
	2診	熊谷 達仁	不定 (受付10時まで)	小畑 哲哉	不定 (受付10時まで)	志摩 隆之	
	3診	岡野 徹	那須吉郎 (~10:00)	楠城 誉朗		大月 健朗	
	4診	志摩 隆之		金子 忠弘		小畑 哲哉	
	5診	金子 忠弘		大塚 弘剛		熊谷 達仁	
脳神経外科	1診	田辺 路晴	近藤 慎二	不 定	小林 智行	近藤 慎二	
	2診			(大 学)	沼田 秀治		
心臓血管外科		休 診	黒田 弘明	小野 公誉 第1・第3は 手術のため休診	黒田 弘明	不 定	
皮膚科		三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ	三島 エリカ	
泌尿器科	1診	渡部 信之	門脇 浩幸	門脇 浩幸	手術のため 休診	渡部 信之	
	2診	門脇 浩幸	田路 澄代	渡部 信之		田路 澄代	
眼科	1診	宮野 佐智子	佐々木 勇二	佐々木 勇二	宮野 佐智子	佐々木 勇二	
	2診	佐々木 勇二 (予約)	宮野 佐智子 (予約)	宮野 佐智子 (予約)	佐々木 勇二 (予約)		
耳鼻咽喉科	1診	杉原 三郎	杉原 三郎	(大 学)	門脇 敬一	杉原 三郎	
	2診	門脇 敬一	木谷 修一		木谷 修一	門脇 敬一	
リハビリテーション科 (心臓リハ)		磯邊 康行 (尾崎 就一)		磯邊 康行 (尾崎 就一)		磯邊 康行 (尾崎 就一)	
麻酔科		術前診察 (午前)		術前診察 (午前)		術前診察 (午前)	
歯科口腔外科		高橋 啓介		高橋 啓介		高橋 啓介	
放射線科		井隼 孝司		井隼 孝司		井隼 孝司	